

### Ⅲ. 今年度研究開発の推進

## 1. 大学との共同研究の推進

### 1. 名古屋大学総長松尾先生の特別講義

11月27日、大学との連携の一環として、名古屋大学の松尾稔総長に來校していただき、特別講義を行っていただいた。「生命と環境」というテーマで「総合人間科」に取り組んでいる高校1年生を対象に「科学技術と環境」というテーマで特別授業が実施された。科学技術とは何かということから、現代社会の課題まで幅広くお話をしていただき、わかりやすい内容で生徒にも好評であった。

講義後には、生徒から、附属学校の特設教科である「総合人間科」において生徒一人一人が調査・研究している内容と結びつけた質問も次々と出された。松尾先生からは、生徒たちに対して、「領域にとらわれず幅広く興味をもって欲しい」というメッセージもいただき、生徒たちにとって「科学技術と環境」を大きな視野で考える機会となった。名古屋大学の最先端で働いている方の話は、キャリア形成においても十分効果があったように思われる。



### 2. 教育学部研修留学生の附属学校での実習

教育学部では、海外からの留学生を受け入れて、一年間の研修プログラムを実施している。今年度（平成13年度）は、4名の研修留学生（韓国、タイ各1名、中国から2名）が教育学部で研修を受けている。附属中・高等学校も研修留学生の実習プログラムに参加して、附属学校を研修のフィールドとしている。その実

例を紹介すると、平成13年6月27日水曜日、午前中本校の授業見学と研修プログラムについてのオリエンテーションを実施した。

附属学校の実習プログラムの最後には、研修留学生による授業実習を行っている。平成14年2月6日火曜日、第2限目高校1年A組（40名）において、留學生が授業を行った。

### 3. 「一日総合大学」の取り組み

7月7日土曜日、高校二年生（116名）を対象に第一回「一日総合大学」を開催した。

「一日総合大学」では、名古屋大学の各研究科・学部より担当の先生のご協力をいただき、高校二年生に研究科・学部での研究活動について講義をしていただいた。「一日総合大学」は、高校二年生に、大学での研究の様子を伺うことにより、特設教科「総合人間科」での自主的な調査・研究活動の参考にしたり、キャリア形成のためのステップとして実施した。

参加した高校二年生の感想より

・「工学と理学の違いについて、今まで深く考えたことがなかったので、自分にとって新しい発見がいく

	系統	所 属	講 師
1	工学系	工学研究科	小野木克明先生
2	経済学系	経済学研究科	竹内常善先生
3	法学系	法学研究科	神保文夫先生
4	農学系	農学研究科	服部重昭先生
5	情報系	情報文化学部	栗本英和先生
6	文学系	文学研究科	江村治樹先生
7	理学部系	理学研究科	中西 彊先生
8	教育系	教育発達科学研究科	速水敏彦先生
9	医学系	医学部	島田康弘先生
10	芸術系	愛知県立芸術大学	二瓶浩明先生
11	家政系	金城学院大学 家政学部	片瀬真由美先生 間瀬正彦先生
12	福祉系	金城学院大学 現代文化学部	杉本貴代栄先生

## 1. 大学との共同研究の推進

つもあった。」

- ・「『受験のための勉強』という先入観を持たされやすい高校の勉強をしている一高校生として、大学の専門的な分野の勉強というものはとても面白そうだと思う。」
- ・「現役の名大の先生のお話を聞くことができるのは、高校生ではまずないので、とてもいい経験になった。」
- ・「興味のある分野のお話が聞けてとても楽しかったです。もっとたくさん聞きたかった。」
- ・「とてもいい刺激になった。」

以上のように、高校生にとっても大学の先生から直接お話を伺うのも良い刺激になった。今回は、愛知県立芸術大学（本校の高校二年生の保護者）・金城学院大学の方々の協力も得られ、12講座を開講することができた。次回は、開講講座を多くしたり、授業時間（今回は各50分）を長くするなど、生徒の要望を取り入れて開催したいと考えている。

### 4. JICA研修留学生の本校での研修

10月30日火曜日、JICA留学生（アルバニア、グレナダ、タンザニア、マラウイ各1名 ケニア、マレーシア各2名）8人が本校のプログラムに参加。1～3限目授業参観と英語の授業に参加した。英語の授業実践については、「中高一貫カリキュラムにおける教科の取り組み」の外国語編に詳しく述べられている。午後は、施設見学・質疑を実施した。本校の施設や教育方針から、日本の教育問題全般にわたる質疑がおこなわれた。

### 5. 中学校地理教育用GIS (Geographical Information System) の開発と実験授業の実施

中学校社会科の教育現場にGIS（地理情報システム）を導入するためのカリキュラム開発および教育用GISソフトの開発を大学と連携して取り組んでいる。授業にGISを導入することによってどのような学習効果が得られるか評価することを目的として、名古屋大学大学院環境学研究科と共同研究を行った。11月8日木曜日、第1限目（中学1年B組）と第3限目（中学1年A組）の地理の授業において、身近な地域の商店街の変化を手書きの地図に表したものを、GISソフト「MANDARA」により高次な表現を行うことを目的とした。

#### (6)授業の中での共同研究

本校の日常的な教育活動、授業においても大学との連携が進んでいる。中学校のソーシャルライフや授業

後のアシスト教室など、教育学部との連携により学習効果が上がってきている。また、中学校2・3年生の異年齢集団による選択プロジェクトでは、名古屋大学大学院法学研究科の院生とのTTによる授業も試みられている。

高等学校の新教科群では、後期の「心と身体の科学」において名古屋大学保健体育センターの山本先生により講座が開校されている。

上記のソーシャルライフ・アシスト教室・選択プロジェクト・新教科群については詳しく論じられているのでそちらをごらん頂きたい。

（文責：山田 孝）